

全国都市再生モデル調査 情報交換会説明資料  
みなとの特性を活かした市民参加による交流空間創出調査  
～ 北前船を活用した酒田港親水空間づくり推進調査～

特定非営利活動法人 極楽鳥海人

1. 調査の背景

北東アジア地域との交流拡大が予想されるなか、物流・人流を支える拠点として酒田港の機能の充実と強化が求められている。また、酒田港は山形県民の憩い、レクリエーション、学びの場として、さらに観光や賑わいの拠点としての機能も期待されている。

このような酒田港に対する要請を受け、長期的な視点に立った港づくりを進めるため、平成15年3月より官民が協働して**酒田港長期構想**の策定に向けた検討が進められてきた。(同構想は平成18年3月に完成)

2. 調査の目的

本調査は、酒田港本港地区を調査フィールドに、北前船が育んだ湊まちの文化を活かし、「山形県酒田海洋センター」、「東ふ頭上屋」などの既存ストックを最大限に活用しながら、酒田港長期構想の中で打ち出されている魅力ある親水空間・国際交流拠点づくりに関する各種実験を行い、取り組みの効果の検証と構想実現に向けた課題の抽出を目的に実施した。

なお、実施にあたっては、市民・NPO法人等、各団体や行政機関と検討委員会を組織し、調査フィールドの将来像を取りまとめた。



### 3. 調査の内容

#### (1) 検討委員会の開催

本調査を実施するにあたり、市民、NPO法人等、教育関係機関、学識経験者、国・県・市各行政機関からなる「酒田湊まちづくり委員会」による「北前船を活用した酒田港親水空間づくり推進調査」検討委員会を計3回開催した。同検討委員会には「酒田北前みなとまつりWG(ワーキンググループ)」、「国際化シンポジウムWG」、「体験学習WG」、「酒田港本港地区親水空間将来像・地域波及効果検討WG」を置き、具体の作業を進めた。

#### (2) 「酒田北前みなとまつり」の開催

酒田港本港地区を調査フィールドに、平成17年10月22日～30日の間、山形県酒田海洋センターでは「北前船資料館シミュレーション」、東ふ頭上屋では「山鉾ミュージアム」、交流広場では「みなとまつり」を開催し、酒田港の賑わい空間としての可能性について社会実験を行った。

#### (3) 体験学習実験の実施

山形県酒田海洋センターに地域の自然、歴史に関する展示物、人を配置し、地域の子供たちや来訪者に地域の魅力を伝え、**総合学習・生涯教育の拠点としての可能性**について社会実験を実施した。



## 「酒田港 海・遊・学」～総合学習支援の取り組み～

平成16年度から、酒田市内の小学校と一緒に、総合学習「酒田港 海・遊・学」を始めました。港や地元の自然をフィールドとして環境教育や自然体験活動をしています

### 松陵小学校(4年生)

テーマ:万里の松原のガイドになろう期 間:4月～2月内 容:植物・鳥・生き物・土など自分で調べたいテーマを決めて、万里の松原でのフィールドワーク、学校での調べ学習を行いました。



## 「酒田港 海・遊・学」～総合学習支援の取り組み～

平成16年度から、酒田市内の小学校と一緒に、総合学習「酒田港 海・遊・学」を始めました。港や地元の自然をフィールドとして環境教育や自然体験活動をしています

### 港南小学校(4年生)

テーマ: 港と自然の大研究期 間: 6月～10月  
内 容: 海・植物・生き物・鳥・土のテーマから、  
生徒が興味を持ったテーマ毎にグループに分  
かれて大浜海岸で学習を行いました。



## 「酒田港 海・遊・学」～総合学習支援の取り組み～

平成16年度から、酒田市内の小学校と一緒に、総合学習「酒田港 海・遊・学」を始めました。港や地元の自然をフィールドとして環境教育や自然体験活動をしています

### 宮野浦小学校(4年生)

テーマ:宮野浦自然探検隊期 間:6月～10  
月内 容:学校に近い宮野浦海岸をフィールド  
に、海・植物・生き物・鳥の各テーマを全て体  
験し、また、宮野浦海岸と比較するため、大  
浜海岸での学習も行いました。



## 「酒田港 海・遊・学」～総合学習支援の取り組み～

平成16年度から、酒田市内の小学校と一緒に、総合学習「酒田港 海・遊・学」を始めました。港や地元の自然をフィールドとして環境教育や自然体験活動をしています

### 宮野浦小学校(5年生)

テーマ:「いのち」不思議探検隊期 間:9月～10月内 容:4年生と同様に宮野浦海岸と大浜海岸をフィールドに、海・植物・生き物・鳥の中から2つのテーマを選び、宮野浦の自然と環境について学習を行いました。



## 「酒田港 海・遊・学」～総合学習支援の取り組み～

平成16年度から、酒田市内の小学校と一緒に、総合学習「酒田港 海・遊・学」を始めました。港や地元の自然をフィールドとして環境教育や自然体験活動をしています

### 北平田小学校(5年生)

テーマ:おらほの川 期間:4月～3月内 内容:  
学校の近くを流れる寺田川をフィールドに、そこに住む生き物や植物を調べ、また、フィールドを別の川に移して生態系の違いなどを学習しました。



(4)「21世紀の北前船 国際化シンポジウム」の開催

酒田北前みなとまつり期間中に、過去8年間継続した酒田JCで行った北東アジア圏との青少年交流事業を紐解き、国際交流の必要性、可能性をシンポジウム形式で広報した。

(5)「酒田港本港地区の利活用に関するアンケート調査」の実施

酒田北前みなとまつりへの来場者に対して、酒田港本港地区を親水空間として形作ることへの意向、整備方向のニーズ、来訪意向に関するアンケート調査を実施した。



3月5日に新潟市で開かれた北東アジア交流プロジェクト総括シンポジウムin新潟の開催に当たり、関係11府県知事はそれぞれメッセージを寄せた。また総括シンポジウムでは、10新聞社の社長が交流プロジェクトを継続させ、地域の発展と交流に寄与するとの共同宣言を行った。齋藤弘山形県知事のメッセージと共同宣言は次の通り。

北東アジア諸国とのネットワークの重要性は一層増してきている。山形県では、一九九二年にハルビンから松花江、アムール川、日本海を経て酒田港に到る「東



方水上シルクロード」が開設されるなど、経済交流は長い歴史を有している。毎年ハルビンで開催される経済貿易商談会には九六年から出展し、投資や技術交流

## 山形の観光資源 アジアで共有

### 交流圏形成へ貢献したい

などさまざまな経済交流の可能性が高まっている。観光面でも人々の往来が盛んになってきており、本県の豊富な温泉、美しい山々と海、スキー場などはアジアの人々と広く共有できる観

#### メッセージ

山形県知事 齋藤弘

光資源と考えている。観光交流を本格化させるために、今年五月には隣接県と連携しながら、本県の韓国事務所をソウルに開設する。こうした交流の底流となる文化交流については、

本県の書道家団体と黒龍江省の書道家団体が両県省で作品展示会を共催し、互いに書法・書道の技法を高め合うなど、実りある交流が展開されている。今後、これまで築き上げてきた北東

アジアとの交流の資産を生かし、アジア諸国と互いの長所を生かす形で協業関係を結びながら、経済・文化・観光など幅広く北東アジアとの交流圏の形成に貢献していきたいと考えている。

63第0049号  
研究,佳木斯  
者的独家奉献  
(胶襄)。  
活血化府,凉  
补气行血,寒  
身不遂,肢体  
百障碍,吞咽  
情。  
低血粘度,融  
成。  
89号  
223768

佳木斯日报社主办  
刊号CN23-007 代号J3-27  
总第896期

1996年8月大  
13  
星期二  
农历丙子年六月二十九

天气预报  
今天白天到夜  
间小到中雨,东北  
风3~4级,气温  
23℃~16℃。

金龙扑克  
不“打”不支



▲上海又一届世界特大桥  
世界大桥11日重新开工  
▲国务院12日任命李德为工  
科大学第一副校长,新任副  
1934年生于上海,1954年毕业于  
林长东北人民大学(现吉林大  
学)理,《新华社8月12日通

# 中日俄少儿夏令营举行开幕式

本报12日讯(记者 苏文)连绵的小雨并没有影响中、日、俄三国少儿夏令营营员的兴致和热情,上午9时30分,开幕式准时在市宾馆南楼会场举行。

当我市夏令营营员从日本友人田越诚先生手中接过象征三国和平、友谊的三环营旗时,市委副书记董永贵愉快地宣布开幕式开始。

副市长王志忠在开幕式上说,由日本友人田越诚先生发起的中、日、俄三国儿童夏令营活动是十分有意义的,三国少儿将成为21世纪的主人,我们应当为他们创造良好的条件,开阔他们的视野,让三国的人民共同奔向21世纪。

我市120名小朋友载歌载舞为日、俄两国小朋友表演了精彩的节目,当听到市第十小学的学生演唱前苏联歌曲《红梅花儿开》时,俄罗斯小朋友报以热烈掌声,并和他们一起演唱。

中午,三国小朋友来到市第一中学的食堂一起包饺子,日、俄小朋友好奇地向我市小朋友学着包饺子,1小时后,他们兴高采烈地吃上了自己亲手包成的饺子。

# 暑假滥收“补课费”,休矣!

## 市教委对此有了明确“说法”

本报讯(记者 顾凌云)市治理中小学乱收费办公室的举报电话8223134公布后,群众多次举报,反映今年暑假期间仍有一些中小学教师租用闲置场所搞有偿性“补课”,收入可观。

据市教委计财科的同志介绍,为使中小学生过一个愉快的暑假,省教委文件明确规定,“各地中小学必须按照规定的放假、开学”,“中小学校在假期不准组织任何年级的补课,毕业年级的高考补习班也不例外”,但仍有个别老师组织学生补课,前不久一家长举报,亮子河发电厂子弟校老师擅自补课,市教委同该厂负责教育的厂长沟通后,此事立即得到查处,该老师已退回补课款。

对此,市教委负责人明确表示,只要接到举报就会立即查处,对假期开班补课的,要逐所学校调查,对擅自收取的补课费一律上缴财政,有关责任人和单位领导要追究党纪、政纪处分。



图为日方团长田越诚先生将夏令营旗交给我市少先队营员。  
本报记者 金美华 摄

本报讯(记者 易佳)省农科院富元农场职工面对音达木河决堤,在束手无策中想起亲人子弟兵,驻军81160部队子弟兵奋战10小时,冒雨垒起石坝,保住了300亩良田。

由于近日大雨不断,音达木河被山洪横贯,致使富元农场河段被洪水冲毁30多米,场组织农工堵坝,泥袋被冲

武警三支队  
险情未  
本报讯(姜吉功)警三支队武警营抢险救灾

王宝臣一家得到社会关注  
在王宝臣住院期































Акции

## Когда расцветут сорок тысяч лотосов

*Есть, оказывается, в окрестностях Хабаровска озеро лотосов. Открыв его для себя, школьники организовали клуб, который так и называется: "Лотос".*

Не поленились сосчитать растение, занесенное в Красную книгу как ценное и редкое, и насчитали сорок тысяч. Изучили химический состав воды, биологические особенности, влияние окружающей среды. Выяснили также, что в ближайшем озере лотосы погибли от рыбацких сетей и лодок. Поэтому дети решили добиться, чтобы "их озеро" получило статус памятника природы. И занялись "переселением" этого редкого растения в другие подходящие для этого водоемы.

А услышали мы эту историю на международной встрече-семинаре "К экологическому благополучию". Она проводится в Хабаровске, и, как выяснилось, юные хабаровчане, японские и китайские школьники собираются не впервые. Инициатором движения стала молодежная палата префектуры Ямамото.

Теплоход "Василий Поляков", где разместилось около

150 участников семинара, представляет из себя необычное зрелище. Каждый из пяти дней начинается зарядкой и заканчивается дискотеккой. А между этими двумя мероприятиями весьма насыщенная программа: теоретические занятия и знакомство с достопримечательностями, экскурсия в реабилитационный центр диких животных в Кутузовке, посадка деревьев в детском парке имени Гайдара, "Сделай сам себе сувенир" - в центре детского творчества Кировского района, спортивный праздник, встречи в семьях юных хабаровчан и т.д.

В последнее время заметно, что экология стала одним из самых популярных детских движений.

Поле деятельности для приложения их неуемной энергии, судя по тому, как хозяйствуют сегодня взрослые, безгранично.

Валентина СЕМЕНОВА.  
Фото Анатолия ШЛЯХОВА.



8月14日  
「太平洋の星」

# Дети трех стран за экологическое благополучие

В Хабаровске проходит традиционный конкурс рисунков детских-экологический конкурс. На рисунках дети изображают экологически чистую природу, здоровую жизнь, мир и дружбу. В конкурсе участвуют дети из России, Японии и Китая. Конкурс проводится ежегодно в рамках программы «Экологическое образование».



「環境保護に努むる世界の子ども」(仮訳)  
7月21日付「アム

ハバロフスクで4日前にあつた世界の国際生態学「環境保護」が閉幕されている。この行事への参加者は3か国：ロシア、日本、中国の他であり、閉会式の日には中国駐日大使館の副書記長、日本の山形県市長から来た共産主義青年会委員長、北地区山形県プロダクト委員、ジャンパー-中国ジャム生態教育委員会副委員長としてイリーナ・ストロコヴァハバロフスク地方自治体副市長が若いエコロジストたちと挨拶し、挨拶の中で彼女は、このような文化事業が発展地域の相互理解と友好関係を築いていると強調した。また、この日は有名な作家であり、著者であるニコライ・チーバコフが来賓の一人として出席し、この文芸会のアプログラムは非常に充実している。多くの行事が映画「ワレリイ・ボヤルコフ」で行われる。日本人と中国人の他はロシアの舞踏、つまり第2及び第4学校の合唱隊を助げる。東洋美術展で若いエコロジストたちは「友情の伝言」への参加をする。ハバロフスク地方自治体での両り多き舞台日程の後には最大なサポートプログラム「国際モザイク」がロシアと外国の芸術家たちによって行われる。

# Когда расцветет сорок тысяч лотосов

Благи, экологичные, и культурные мероприятия пройдут в Хабаровске в эти дни. События пойдут под лозунгом: «Земля и вода». На протяжении нескольких дней, начиная с завтра, в Хабаровске пройдут различные мероприятия. В первую очередь это экологические акции, посвященные защите окружающей среды. В частности, будут организованы акции по уборке мусора в парках и скверах. Также пройдут лекции и семинары на тему экологии. В рамках программы «Экологическое образование» будут проведены различные мероприятия, направленные на повышение экологической культуры населения. В частности, будут организованы конкурсы рисунков и эссе на тему экологии. Также пройдут выставки и концерты. Все мероприятия пройдут в рамках программы «Экологическое образование».



## special thanks

- 市村浩一、田越誠、下村義典、大谷正樹、下村定、高橋誠、西村隆、工藤正、大塚宗徳、前藤淳、時田孝、羽田昭、原田重雄(譯者三男)、本間浩樹 及びハバ(08)..... グロバのメンバー













ЗА ЭКОЛОГИЧЕСКОЕ БЛАГОПОЛУЧИЕ

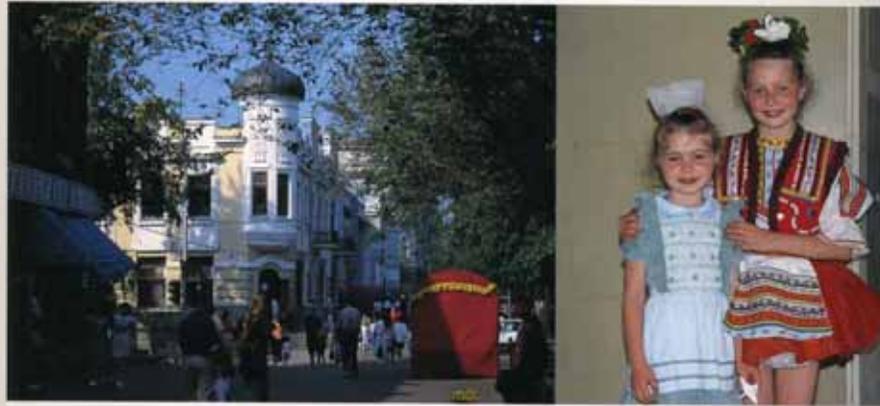


г. ХАБАРОВСК  
1997 г.





# 北東アジア遊学塾⑥ハバロフスク1997



こころに残る一生の思い出を…  
青少年のリーダーシップを育成します。

## 遊び、そして学ぶ 青少年国際交流サマーキャンプ

### ■旅行代金

こども：**85,000円**

おとな：**100,000円**

(旅行代金に査証代金9,000円及び旅行手続き手数料4,200円は含まれません。)

### ■旅行期間

平成9年**7月28日(月)～8月1日(金)**

### ■募集対象

山形県内在住の10～16才の健康な子供  
及び子供たちと同行してくれるボランティア

### ■募集人員

60名(最低催行人員45名)

### ■お問い合わせ・申し込み先

社団法人酒田青年会議所 TEL.0234-24-9192

### ■申し込み金

10,000円(旅行代金に補充)

### ■申し込み締め切り/5月31日(土)

企画主催/社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 主管/社団法人酒田青年会議所



## 4. 本調査の成果

### (1) 酒田港本港地区の親水空間としてのポテンシャルの把握

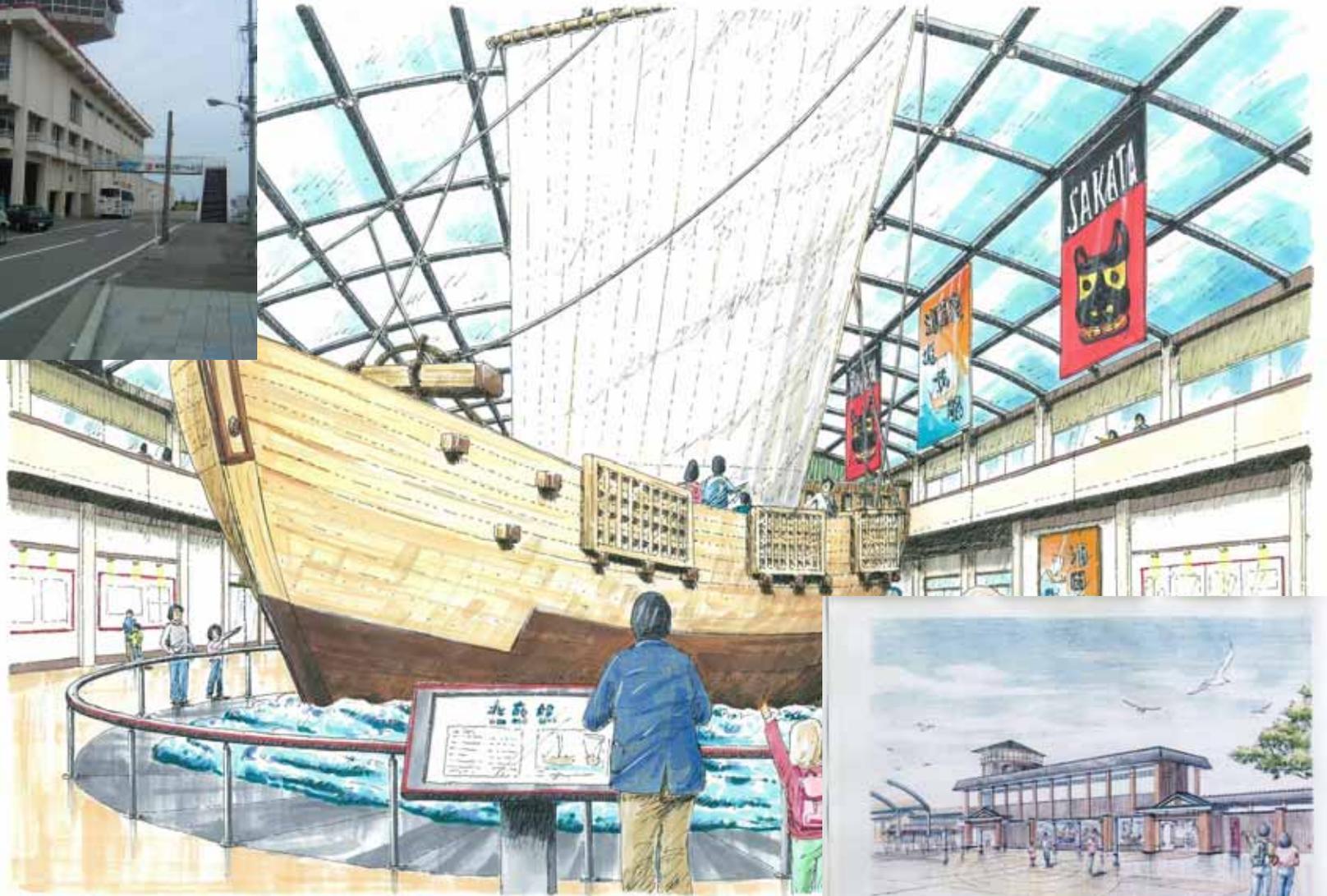
本調査によって、港湾地区を親水空間として形作るための市民や来訪者の評価・意見を収集でき、同時に、親水空間整備が実現した場合の利用意向、消費金額を調査した結果、将来的な同地区への来訪者数は、延べ約53万人/年、経済波及効果は約48億6千万円と推計され、大きなポテンシャルを有することが分かった。

また、親水空間づくりに向けた問題点の抽出、解決の方向性を見出したこと、および市民・来訪者の要望等がデータとしてとらえられ、その結果として打ち出された将来イメージを市民が共有化でき、「みなとの特性を活かした市民参加による交流空間創出」の計画推進に寄与することができた。

### (2) 本調査を契機に関連する事業が続々と展開

本調査と前後して、30年後の酒田港を想定した「酒田港長期構想」が策定され、同構想の実現に向けた「酒田港長期構想推進委員会」が発足した(平成18年11月)のをはじめ、本調査の成果を受けて、以下の関連する事業が続々と展開している。

- ・「21世紀の北前船『酒田観光ルネサンス』事業」が観光ルネサンス補助事業に選定(平成18年5月、実施主体:社団法人酒田観光物産協会)
- ・「北前船復元・建造コンセンサス形成事業」が地域資源 全国展開プロジェクトに採択。北前船の復元に向けた事業化可能性検討に着手(平成18年7月、実施主体:酒田商工会議所)
- ・北前船コリドール構想の推進母体「株式会社北前船庄内」が設立準備(平成18年9月)
- ・北前船をかたどった鉾の常設展示会場として上屋施設を活用、平成21年の酒田山王まつり400年に向けて、みなと酒田のまつり再構築プロジェクト、横浜港との交流事業を推進
- ・観光地域づくり実践プラン採択、鳥海山と日本海のコラボレートによりみなとまちづくりを観光の視点で再構築
- ・国、県、市、民間の協働によりみなとを核とした散策ルートづくりを実践(みなと散策事業)



## 5. 今後に向けた課題

今まで手つかずの状態であった既存ストックである山形県酒田海洋センターの機能向上、東ふ頭上屋の利活用が、港湾地区における交流空間創出にとって重要・不可欠であることが分かった。

今後、酒田港本港地区の利活用・親水空間づくりを推進するに際しては、何よりも地域の人々の共感・賛同・支援が欠かせない。地域のより多くの人々が酒田港に関心を持ってもらうため、「酒田港長期構想」「みなとオアシス酒田」、関連する諸事業、酒田港本港地区における親水空間づくりに関する情報発信、広報活動を一層強力に展開する必要がある。



特定非営利活動法人極楽鳥海人

